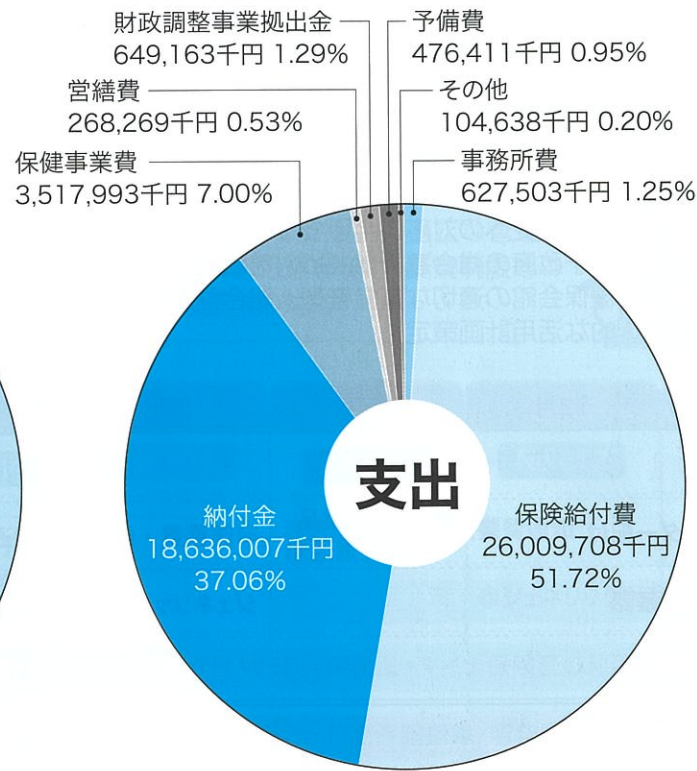
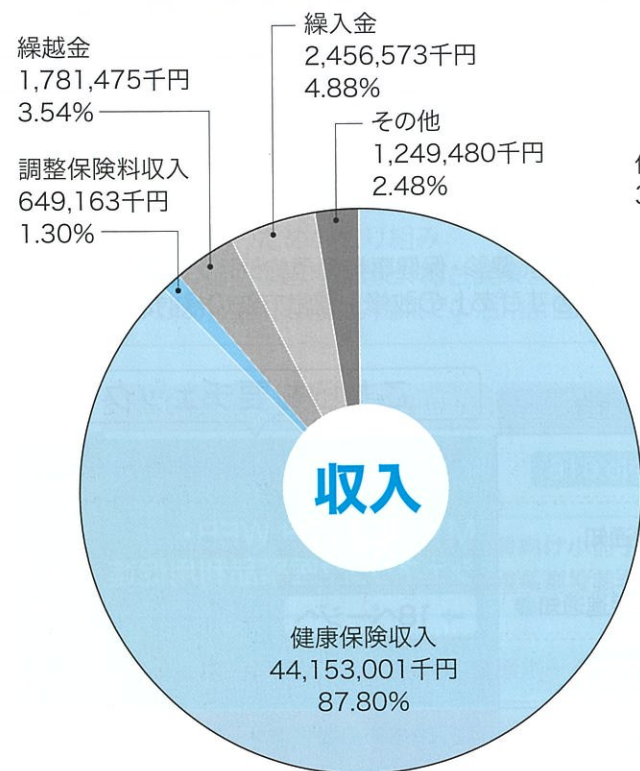


一般勘定

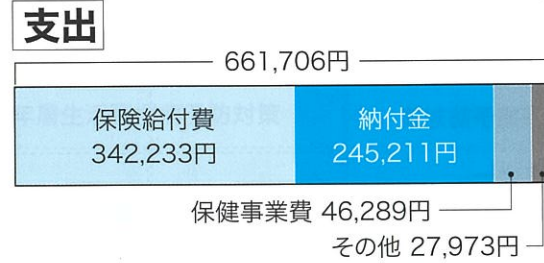
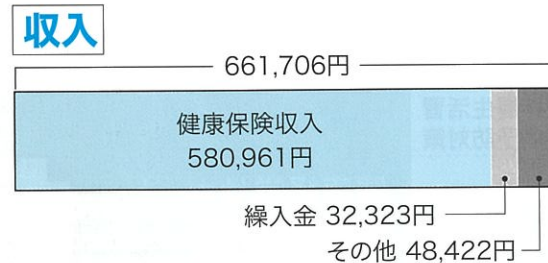
予算の基礎数値 (一般勘定)
 ●被保険者数 76,000人
 ●平均標準報酬月額 419,000円
 ●標準賞与額 1,550,000円



収入 **50,289,692千円**
 (経常収入合計 44,927,909千円)

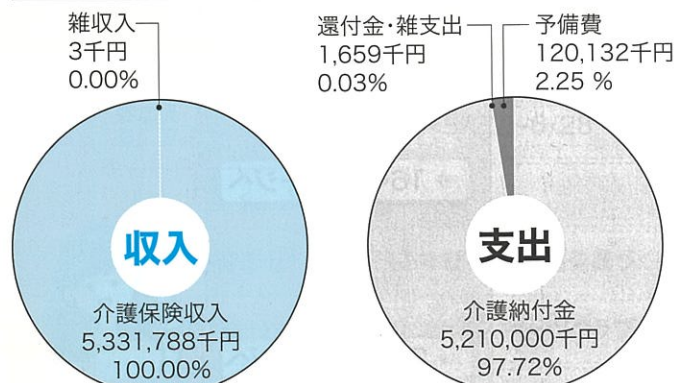
支出 **50,289,692千円**
 (経常支出合計 48,888,706千円)

■1人当たりでみると…



介護勘定

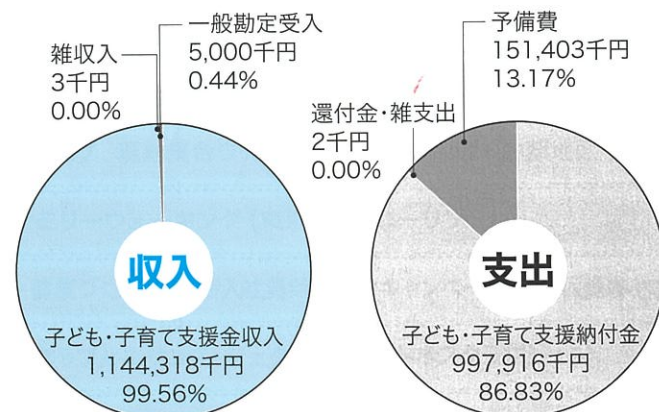
予算の基礎数値 (介護勘定)
 ●被保険者数 42,300人
 ●平均標準報酬月額 470,000円
 ●標準賞与額 1,780,000円



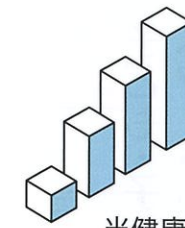
収入 **5,331,791千円** 支出 **5,331,791千円**

子ども勘定

新設の子ども・子育て支援金の項目です。



収入 **1,149,321千円** 支出 **1,149,321千円**



令和8年度 予算のお知らせ

当健康保険組合の令和8年度予算が組合会において承認されましたので、その概要をお知らせします。

保険料率 ※健康保険は調整保険料率1.3/1,000を含む

	被保険者	事業主	合計
健康保険	43/1,000	47/1,000	90/1,000
介護保険	8.5/1,000	8.5/1,000	17/1,000
子ども・子育て支援金	1.15/1,000	1.15/1,000	2.3/1,000

収入支出予算額

一般勘定	502億8,969万円
介護勘定	53億3,179万円
子ども勘定	11億4,932万円

収入

保険料率は据え置き、保険料収入28億円増

収入全体の8割以上を占める保険料収入は、標準報酬月額や標準賞与額の伸びを見込み、前年度より28.1億円増の441.5億円となっています。また、保険料率は据え置きとし、前年度からの繰越金17.8億円に、別途積立金等から24億円を繰り入れることで収支バランスを図りました。

支出

保険給付費、納付金の二大支出が増加

みなさまの医療費や各種給付金等にあてる保険給付費は、前年度より13.8億円増の260億円を見込みました。また、高齢者医療への納付金は、前期高齢者納付金が0.6億円減少したものの、後期高齢者支援金が5.3億円増加したため、全体では4.7億円増加

一般勘定(健康保険分)は500億円の大台に

令和8年度の一般勘定は、前年度より5億円増の503億円となりました。これには、6月実施の診療報酬改定や高齢化等に伴う保険給付費および納付金(高齢者医療のために国に納めるお金の増加)が大きく影響しています。一方で、主たる財源である保険料収入が大幅に増加したため、経常収支39.6億円の赤字予算になったものの、赤字額は前年度から約6.7億円減と改善しました。
 なお、今年度から子ども・子育て支援金の保険料を健康保険組合が代行して徴収することになりましたので、子ども勘定を新設いたしました。

介護勘定

介護勘定は前年度より2.4億円減少

健保組合は、介護保険料の徴収業務を担当し、介護納付金として国に納付しています。令和8年度の概算納付金は59億円となりますが、6年度の精算額があったため、52.1億円となり、介護保険料収入の範囲で収まりました。残額のうち1.2億円を予備費として計上しました。

子ども・子育て支援金の徴収開始に伴う負担増を軽減するため、介護保険料率を引き下げます

令和7年度

被保険者	事業主	合計
9.2/1,000	9.2/1,000	18.4/1,000

合計1.4/1,000引き下げ

令和8年度

被保険者	事業主	合計
8.5/1,000	8.5/1,000	17/1,000

子ども・子育て支援金については、6ページをご覧ください。

の186.4億円となりました。

このほか、みなさまの健康づくりのための保健事業費は35.2億円とし、昨年10月オープンの新保健会館を拠点とした健康支援をはじめ、特定健診・特定保健指導、健康経営のサポート、保養所利用や健診の予約システム・キャッシュレス決済の運用費用等も計上しています。
 みなさまには、ご家族を含めて健診を受診するなど健康づくりに取り組んでいただくとともに、適正受診やジェネリック医薬品の活用など医療費削減にご理解とご協力をお願いいたします。